

## 〈建設キャリアアップシステム登録推進・窓口開設情報 ⑭〉

2018年10月30日

本部建設キャリアアップシステム担当発

### 1) 足立支部で4回目となる建設キャリアアップシステム学習会を開催 10月22日

10月22日夜、足立支部会館で技術対策委員会が主催して「第4回建設キャリアアップシステム学習会」を開催、支部の仲間26人(うち法人事業主6人)が参加。神奈川県連の高橋健二書記次長に「建設職人の技術・資格・経験が適正に評価されるために」として、システムの概要、導入による効果、組合に求められる役割、能力評価制度の確立による適正な賃金の設定などを学びました。

出席者アンケートでは、「(システムの)IDがもっと多くの人につたえていきたいと思いました。」「(賃金を)安売りしない」は本当に思っていました。」「経験があるのになにもならないことっていっぱいあって何かいいアイデアがないかなって思っていたので、今日お話しをきけてよかった」「これからの職人は登録した方がいい」「日本の建設職人への対価は安すぎる。キャリアアップが1つの要素になると思うが、組合と称される組織がもっと力を持ってゼネコンに対等にならなければ欧米のような所得にはならないのでは。」などの感想が寄せられました。システムをしっかりと稼働、利用し技能を賃金に連動させる組合運動が求められます。

### 2) 世田谷支部では支部活動者会議のなかで学習会 9月2日

世田谷支部では9月2日午後1時30分より、活動者会議のなかで3回目となるシステム学習会を開催。支部会館で132人の仲間が、山本繁樹技術センター事務局長の「建設キャリアアップシステムの意義と実務」の講演を受けました。すでに第1回は4月15日執行委員会51人で山本事務局長の「建設キャリアアップシステムの意義」、2回目は8月22日賃金・労働対策部が24人参加で建設業振興基金の小原一将主任が「建設キャリアアップシステムの概要と目的、登録方法等の実務処理について」として学習会を開催、理解を広げています。

### 3) 豊島支部、事業所訪問において CCUS で対話

豊島支部は秋の拡大行動の中で、事業所訪問を旺盛に展開。ちょうど、組合加入を検討中の社長と対話ができたとのこと、またCCUSを今まさに入力・登録中の事業所もあり10月24日の無料セミナーを案内してその場で申し込みを頂きました。対話では、人を募集しているけど集まらない、など技能者不足が話題となりました。(本部拡大推進ユース10月18日)。

### 4) 府中国立と多摩西部支部で蟹澤教授を呼んで学習会を計画

府中国立支部・多摩西部支部は、システムの「理論を学び、今後の建設業の展望について」、国交省の「建設技能者の能力評価のあり方に関する検討会」で座長をされている芝浦工業大学の蟹澤宏剛教授(元東京建築カレッジ講師)を呼んで、12月20日(水)午後7時30分より、立川市のトヨタドライビングスクールで学習会を開催します。建設産業民主化におけるCCUSの意義をテーマに組合運動の発展につなげようとする企画です。出席は事前連絡が必要です。

### 5) CCUS 限定運用における事業者説明会が開催されます

振興基金は1月から現場就労履歴等の登録が可能な事業者を限定して運用するため、実施現場、実施手順、サポート体制、限定運用現場に関係する事業者や技能者の登録促進、今後のスケジュールについて説明する事業者説明会を11月15日(木)に開催します。全建総連から東京土建と建設ユニオンに、住宅新築を行う事業所と組合担当事務局で各3人の要請がありました。出席し必要な情報は各支部へ伝えていきます。

(以上)